

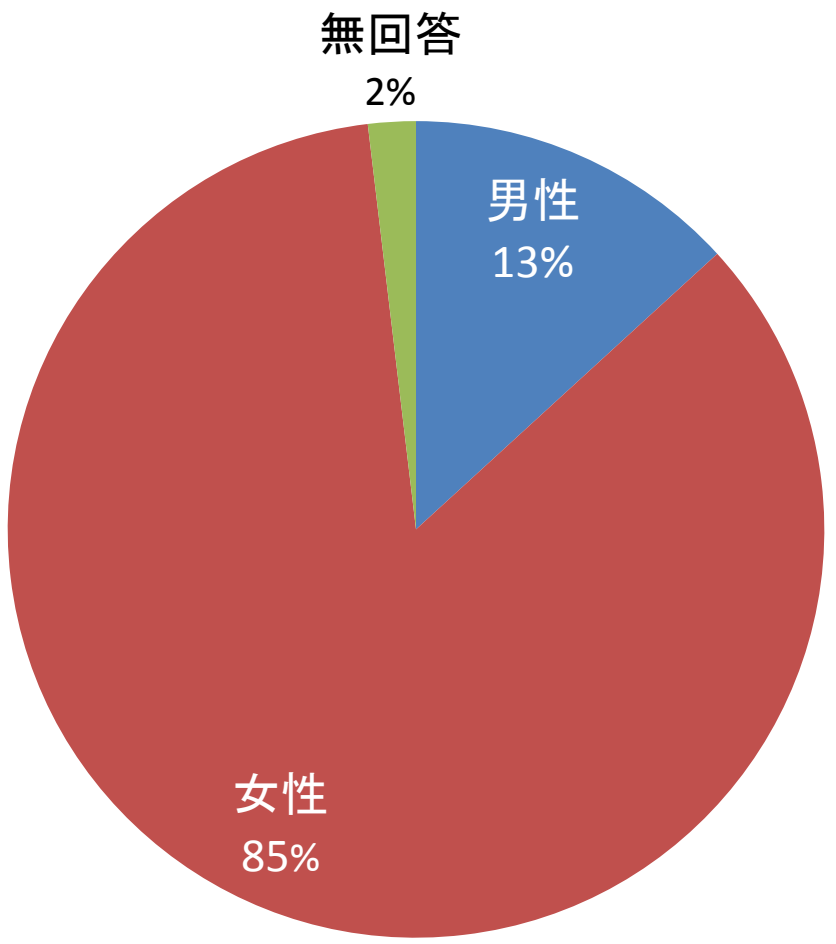
平成26年度練馬区在宅療養推進事業 コーディネート能力向上研修(第一回)アンケート調査結果

- 1 実施日:平成26年12月10日(水) 午後6時30分～午後9時00分
- 2 場所:Coconeriホール(練馬区立区民・産業プラザCoconeri 3階)
- 3 参加人数:53人
- 4 アンケート回答者数:53人

問1: あなたの性別をお聞かせください。

参加者の約85%が女性である。

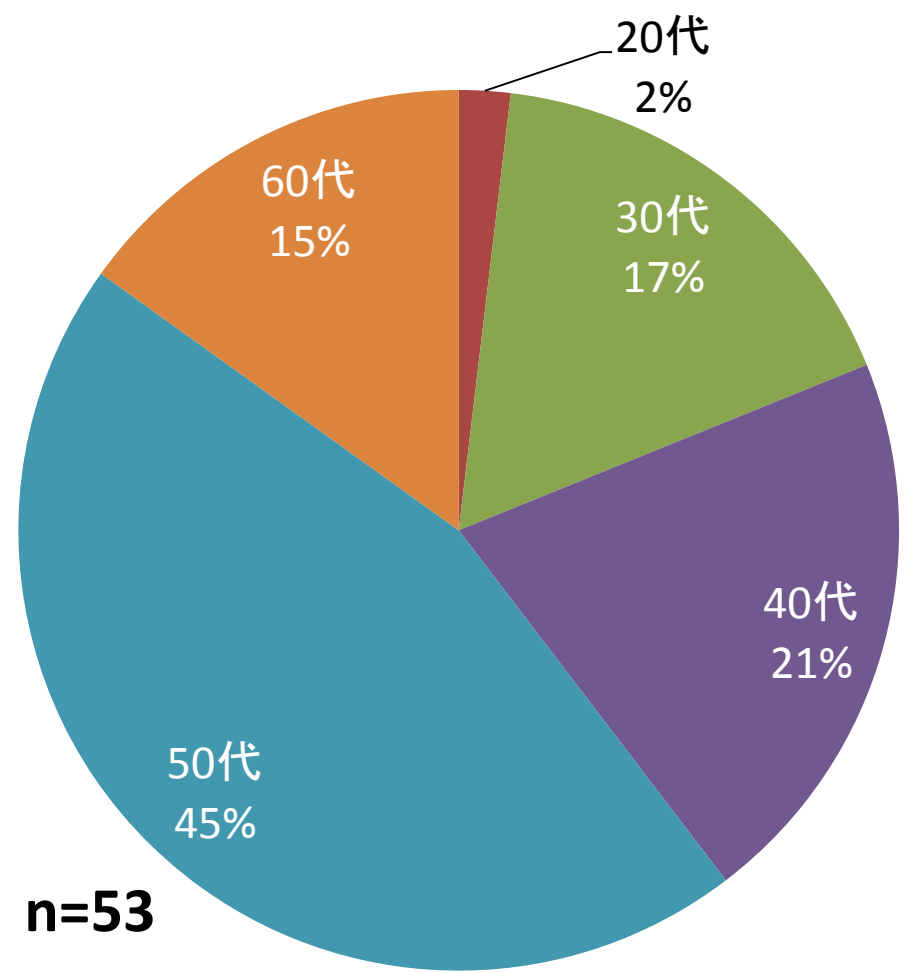
性別	人数
男性	7
女性	45
無回答	1
計	53人



問2: あなたの年齢をお聞かせください。

参加者の約50%が50代である。

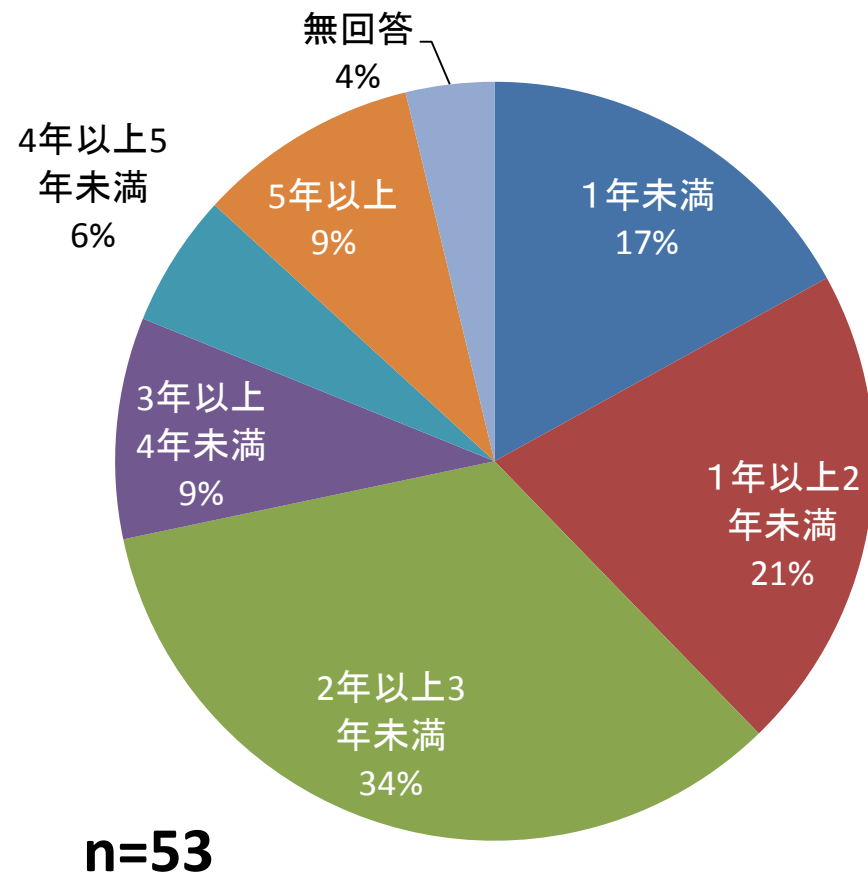
年代	人数
10代	0
20代	1
30代	9
40代	11
50代	24
60代	8



問3: 介護支援専門員としての実務経験年数をお聞かせください。

参加者の中で、経験年数が2年以上3年未満の方が最も多い。

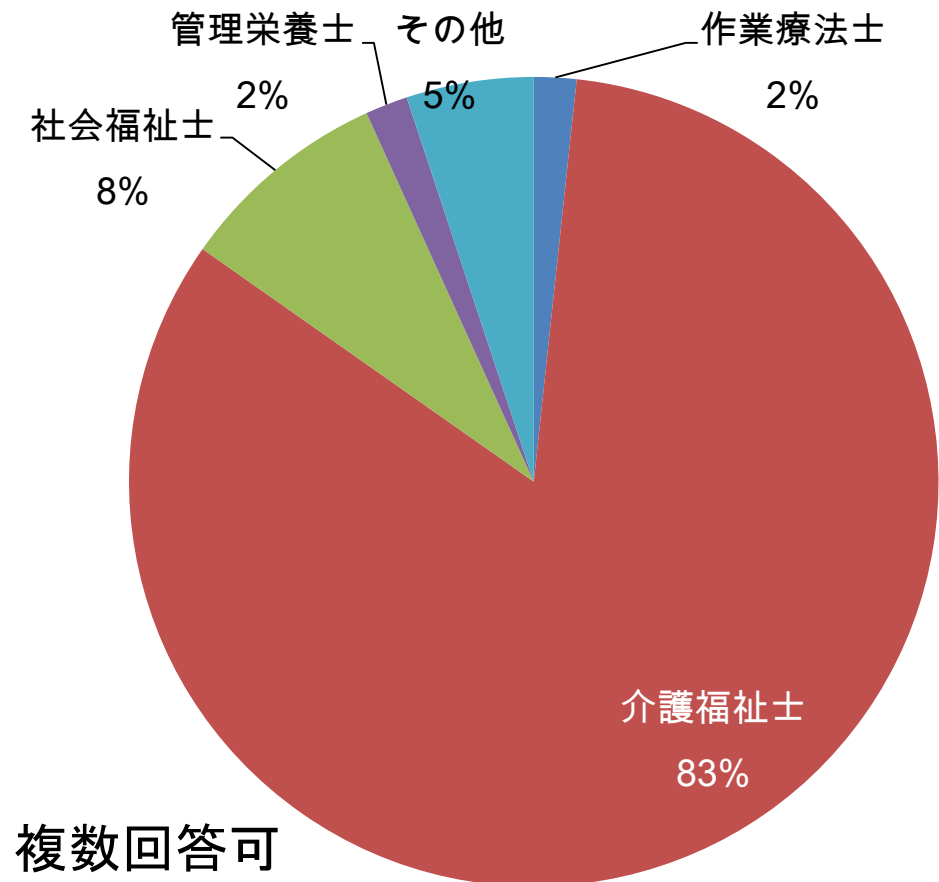
年数	人数
1年未満	9
1年以上2年未満	11
2年以上3年未満	18
3年以上4年未満	5
4年以上5年未満	3
5年以上	5
無回答	2



問4: 介護支援専門員以外にお持ちの資格をお聞かせください。

参加者の90%以上が介護福祉士の資格をお持ちである。

職業	人数
作業療法士	1
介護福祉士	49
社会福祉士	5
管理栄養士	1
その他	3



複数回答可
回答者53名

問4: 介護支援専門員以外にお持ちの資格をお聞かせください。(その他)

(その他の内訳)

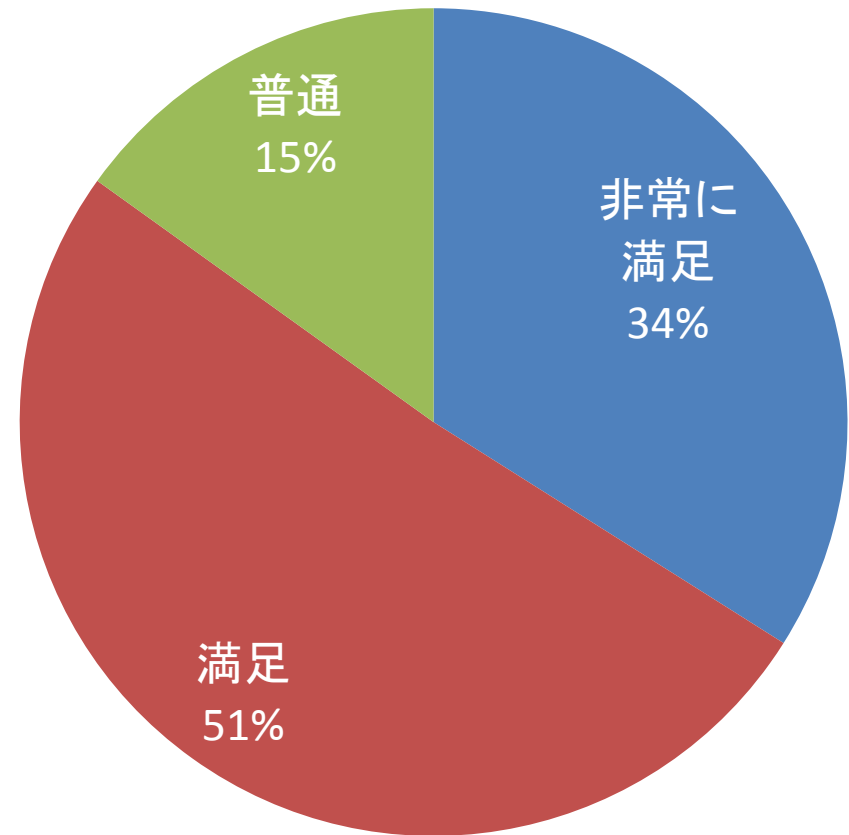
- 社会福祉主事
- 保育士
- ファイナンシャルプランナー2級

問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。

参加者の約85%が満足、もしくは非常に満足と回答した。

満足度	人数
非常に満足	18
満足	27
普通	8
不満足	0

n=53



問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。(選択理由)

【「非常に満足」を選択した理由】

- 医療連携に自信がなかったが、利用者様の為にしなくてはいけないとあらためて感じた。
- ただ情報提供をするのではなく、専門職として自覚し、意識して提供することが大切であることを再認識した。
- 病院での退院に向けた動きや支援の方法について知ることができてよかった。実際にまだ退院支援のケースに多くたずさわっていなかったので、自分のすべきことが理解できてよかったと思う。
- 医師の方が直接答えてくださったことはとても有意義だった。
- 医療関係者がやや近くなった。
- 急性期病院の退院調整に係る診療報酬など知らないことがよくわかった。
- 医師との連絡調整が難しいと感じていたのでためになった。
- 医療との連携や、ケアマネジャーとして具体的にどのようにアプローチをすればコーディネーターが円滑に行えるかについて学べた。
- 医療側が求めている、在宅での情報が重要という事がわかった。今まで認識がなかった。
- 医療連携の具体像が見えた。必要な書類など現場の対処について分かりやすく学べた。
- 知りたい情報を知ることができた。
- 永沼氏、宮本氏、栗原氏それぞれの職種を通しての退院時連携のポイントを具体的に伺うことができ、日頃の迷いや疑問が解決した。
- 実務に直結できる内容だった。

問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。(選択理由)

【「満足を選択した理由」】

- 医師の思いや考えが聞けた。
- ケアマネが留意する点について、医師から直接お話が聞けたのが良かった。
- 医師へのコンタクトの取り方のコツがなんとなくわかった。当該病院の特徴を知るための努力が必要であることがわかった。
- 具体的な話が聞けて参考になった。
- 医療との連携についてよくわかった。
- 病院側で求めていることおよび入退院についての流れなどよくわかった。
- これまで入院時の情報提供をほとんど行っていなかった。
- 必要な情報が分かってよかった。
- 病院側の意見が分かった。連携について同じように考えていることに気づいた。
- 医療職の方の率直な意見が伺えた。
- 連携の具体的な手段が分かりました。
- 病院、医者と聞いただけで苦手意識があったが、この研修で少しだけ克服できた。
- 医療職との連携は常日頃から敷居が高いと感じ、受け身だったが、考えを改めることができた。

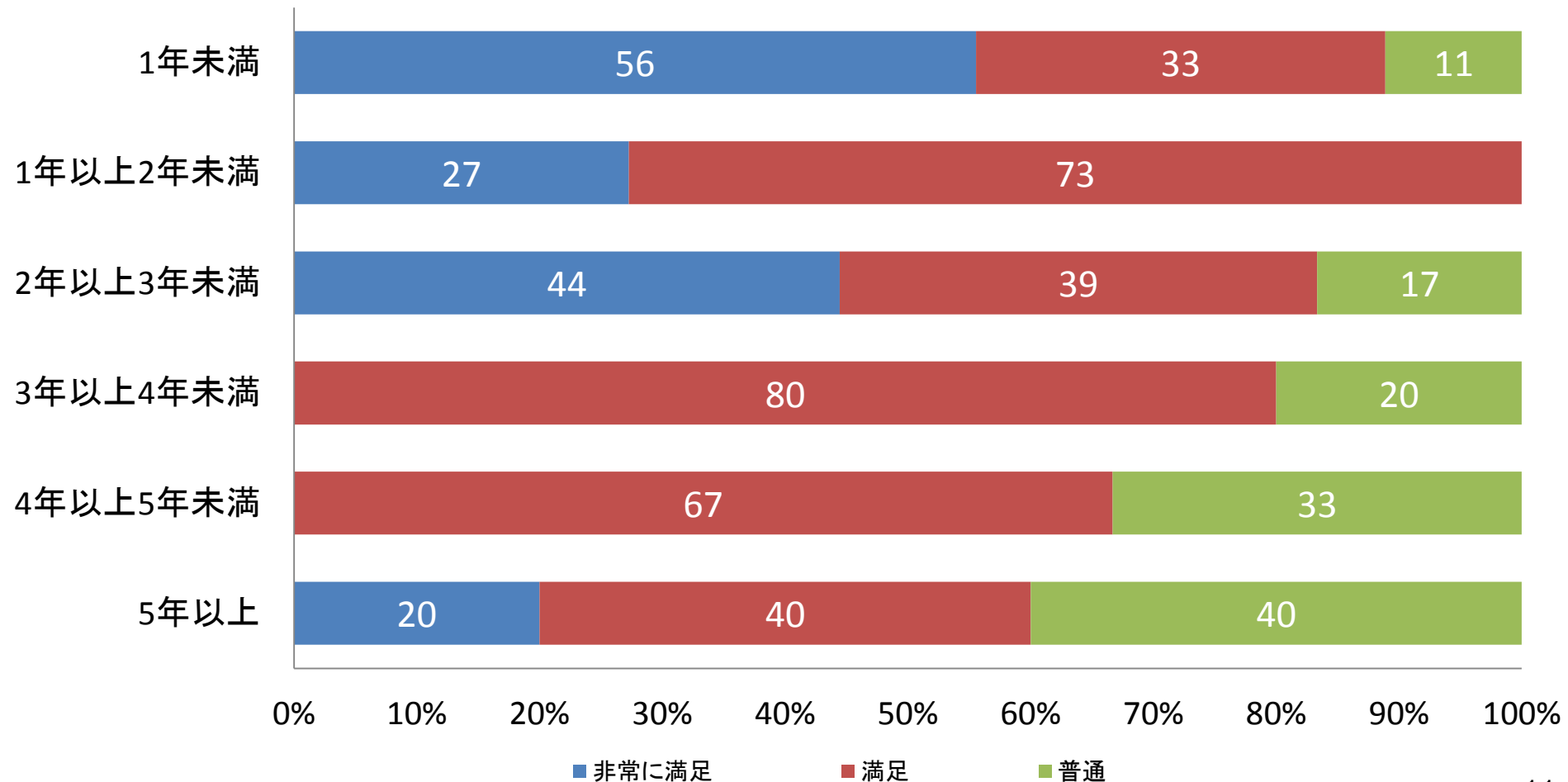
問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。(選択理由)

【「普通を選択した理由」】

- 講義内容はとても有意義だった。意見交換の時間がとても短かった。
- 情報量が多く難しかった。各先生の話が短かった。
- 医師、MSWの立場からストレートな話が聞けて良かった。
- 講師の方々はそれぞれの立場で活躍され、情報の共有にも積極的な方々だと感じたが、実際の現場においては、情報を共有するのは大変難しい状況である。その敷居の高さを解決するには結局ケアマネが時間と手間をかけて解決するしかないのかなと思った。

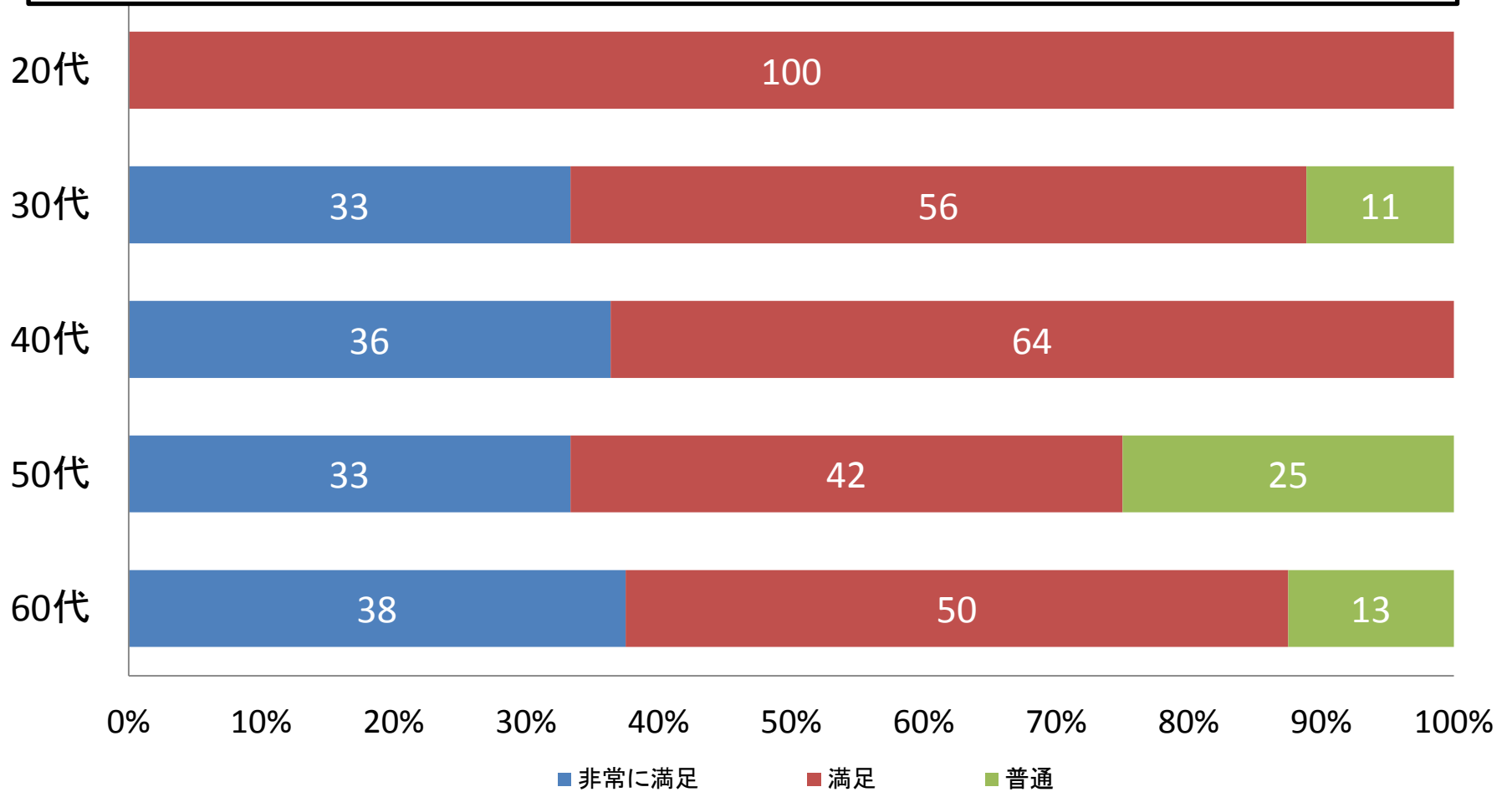
問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。 ※経験年数別

経験年数が短いほど満足度が高い傾向がある。



問5: 本研修の満足度についてお聞かせください。 ※年齢別

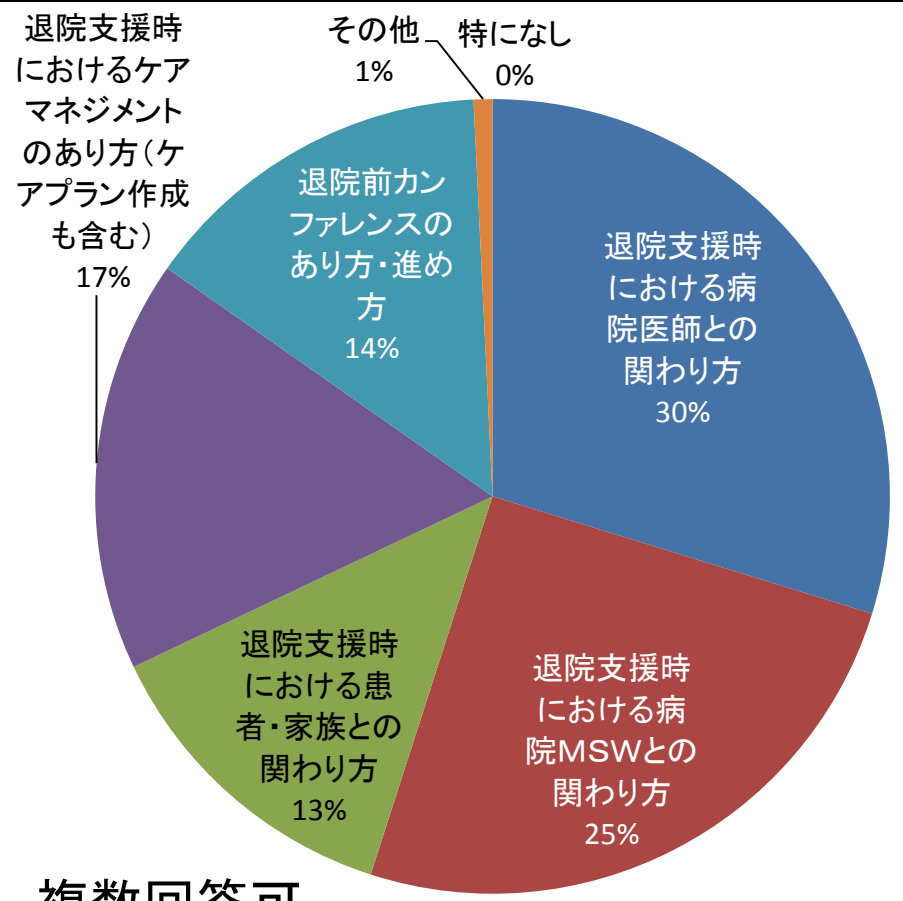
年齢と満足度には明確な相関は無い。



問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

参加者の約70%が、退院時における病院医師との関わり方が実務上で特に役立つと回答した。

評価	人数
退院支援時における病院医師との関わり方	39
退院支援時における病院MSWとの関わり方	33
退院支援時における患者・家族との関わり方	17
退院支援時におけるケアマネジメントのあり方(ケアプラン作成も含む)	22
退院前カンファレンスのあり方・進め方	19
その他	1
特になし	0



複数回答可
回答者53名

問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

【回答内容1(退院支援時における病院医師との関わり方について)】

- 新人ケアマネで知らないことばかりだったので、大変勉強になった。
- 医師、看護師とのかかわり方について。
- 医療機関側と積極的に関わってよいことに気づいた。病院側と連携するときの注意点に気づけた。
- 医療機関側との連携が上手く図れていない自身にとって、詳細な情報が学習できて大変助かった。医師の役割や立場、ケアマネージャーに望んでいることが理解できた。
- その人がどんな生活をしていて、今後どこへ帰ってどんな生活になり、何を希望するのか、それをどうやって支えるかというストーリーをイメージできた。今までただ焦って「どうしよう?」と、無意味な不安だけで何もしてなかった。
- 入院時と退院時の継続した医療支援の必要性が理解できた。
- あまり重く考えずに病院との連携がとれそうである。
- 連携の第一歩が分かったような気がする。

問6: 本研修に参加して、実務上で特に役立つと感じたことはありますか

【回答内容2(退院支援時における病院MSWとの関わり方について)】

- 病院に行くときむたがられているのかと感じてしまうこともあるが、病院側も来てくださいというスタンスでいることがわかった。
- 病状等の理解の相違について。
- 入院時情報提供の重要性について。
- 退院カンファの点数が高いということ。
- 病院側がそんなに情報をほしがっているとは思わなかった。どちらかと言うとケアマネジャーが情報をもらうスタンスでいたため、今後は速やかに知っている情報を提供したい。
- ケアマネジャーから積極的にアプローチするということについて。
- ケアプランの情報を上手に共有できるようになると思う。
- 各病院によって仕組が違うので、退院支援の窓口を探る努力をする。
- 退院後のカンファレンス前に、担当ケースの生活情報を得る大切さ。
- 退院支援時の連携について詳しく聞いたので非常によかった。
- いつのタイミングで医療機関側と連絡をとれば良いかわからなかったが、今回話を伺ってよく分かった。

問7: 今回のテーマに関してさらに学びたい内容(項目)をお聞かせ下さい

【回答内容】

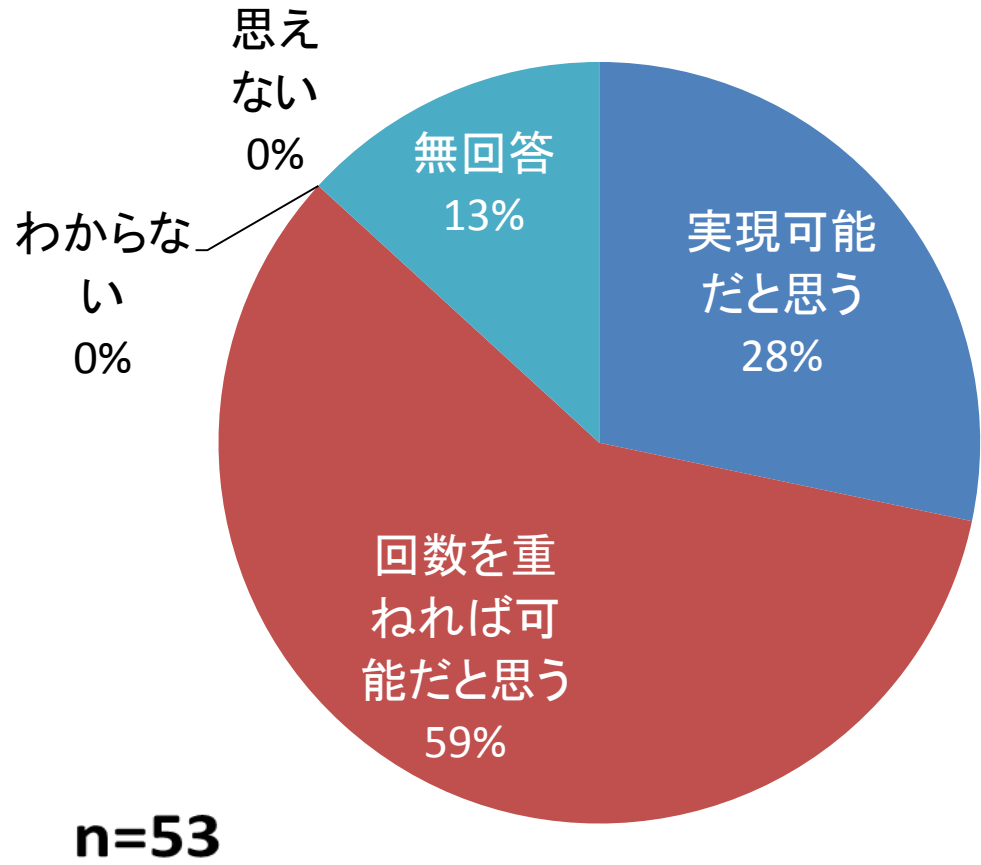
- 入院時に病院に提出する情報についてのフォーマットがあればそれについて勉強したい。
- 「入院時におけるケアマネージャーのありかた」。
- どのような連携をしているのか具体例を教えてください。
- 医師に聞いていい内容、聞くべきだったこと等について、具体的な事例で学びたい。



問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

参加者の約60%が、回数を重ねればコーディネーション能力の向上が実現できると回答した。

評価	人数
実現可能だと思う	15
回数を重ねれば可能だと思う	31
わからない	0
思えない	0
無回答	7



問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

【「実現は可能だと思う」を選択した理由】

- 具体的な現場の話がきけてわかりやすく、今日からすぐに家族(昨日入院した)に連絡したい。
- 利用者にとって必要な事である為。
- 色々なヒントをもらえたのでご利用者のために動けそうな気がする。
- 講義内容が非常に具体的にまとめていただき、理解できたので、コーディネート能力は確実に向上できると思う。

問8: 本研修を通してコーディネート能力向上は実現できると思いますか

【「回数を重ねれば可能だと思う」を選択した理由】

- まだ医療機関との連携のケースが少ないので、今後経験を重ねることでよりよりコーディネートができるようになると思う。
- 顔の見える関係から少しずつ歩み寄ればできると思う。
- 自分から積極的に情報を取りに行かないといけないと思うが、通院同行や実際に病院へ行く時間がなかなか取れないと思う。
- 学んだことは取組み業務につなげていきたいです。
- 今までのケース内容について話し合える場が必要だと感じた。
- 机上での論理は分かったが実践はやはり難しいと思われる。回数を重ねることが必要だと感じた。
- こちらの気持ち次第やカンファレンス前の準備(質問すること)をまとめておくことでスムーズに行えることが理解できた。
- 医師とのコンタクトのタイミングを逃さないという話が大切と思った。
- 研修において基本的な事柄を知ること、各ケースで(いろいろなケースで)経験を重ねる中で向上できると思う。
- 利用者さんのことを思いコーディネート能力向上に努力していこうと思うし、実現は可能だと思うが、時間と手間がかかりすぎる。もっとスムーズに関係を築く方法はないのかと思う。
- 訪問の回数を重ねて自信をつけることが必要。

【回答内容】

- 各講師の方の講演を2時間ほどして頂きたい。
- 「ケアマネージャーの社会的地位」について。
- 事例を基にした研修など。
- 受講対象を2年未満で区切ったのはよかった。